

参考資料 地域保健・健康増進事業報告との対照表

乳がん精密検査依頼書 兼 結果報告書～抜粋

診断区分	i. 異常なし	1. 異常なし	診断日 (診断区分を決定した日付) 平成 年 月 日
	ii. 乳房の癌腫、悪性の肉腫 およびPaget病 ^{※ア}	2. 0期がん (Tis: 非浸潤癌あるいはPaget病) 3. I期がん (T1N0: 2cm以下でリンパ節転移のないもの) 4. II期以上のがん (2cmより大きい腫瘍のもの)	
	※ア. 転移性の腫瘍であることが明らかでない場合はiiに分類してください		病変部位 病変部位のスケッチをお願いします
	iii. 乳房の転移性腫瘍	5. 乳房以外の腫瘍からの乳房への転移 (原発臓器:)	
	iv. 乳房の癌腫以外の腫瘍等	6. 悪性の腫瘍 ^{※イ} () 7. 良性の腫瘍 ^{※ウ} () 8. その他 ()	
	※イ. 組織診にて診断された乳房に発生したカルチノイド、リンパ腫はiv. 6に分類してください ※ウ. 非上皮性良性腫瘍 (線維腺腫等) はiv. 7に分類してください		
v. がんの疑いまたは未確定	9. がんの疑いまたは未確定 ^{※エ} ※エ. 精密検査受診者のうち、検査結果が乳がんの疑いのある者、精密検査が継続中で検査結果が確定していない者はv. 9に分類してください 下の欄の「その後の処置」が「4. 治療済み」の場合はv. 9に分類せず最終診断区分をお書きください		
vi. i～v以外の異常 ^{※オ}	10. i～v以外で良性病変 ^{※カ} 11. i～v以外で乳房以外の悪性腫瘍 ^{※キ} () 12. i～v以外でその他 ()		
※オ. i～vのいずれにもあてはまらない場合のみviに分類してください(i～vのいずれかにあてはまる場合の記入は不要です) ※カ. 乳房に発生した腫瘍様病変 (乳管拡張症等)、乳腺症などはvi. 10に分類してください ※キ. 精密検査にて乳房には病変がない悪性腫瘍はvi. 11に分類してください (例: 食道がん、肝臓がん)			

地域保健・健康増進事業報告様式(平成29年度以降)

精密検査受診の有無別人数					
精密検査受診者					
異常認めず	異常を認める				
	乳がんであつた者 (転移性を含まない)	乳がんのうち 早期がん	早期がんのうち非 浸潤がん	乳がんの 疑いのある 者又は 未確定	乳がん以外の 疾患であつた者 (転移性の 乳がんを含む)
i. 1 vi. 11～12	ii. 2～4	ii. 2～3	ii. 2	v. 9	iii. 5 iv. 6～8 vi. 10